

水戸市植物公園リニューアル基本構想・基本計画（案）

－ 概 要 版 －

1 計画策定の趣旨

水戸市植物公園は、隣接する清掃工場の余熱を利用して、花と緑の啓発普及と市民の憩いの場の提供を目的に 1987 年 4 月に開園しました。

開園から 30 年余が経過し、園内の各種施設については、老朽化に伴う補修等とともに、小吹清掃工場が 2019 年度末に操業を停止することから、観賞大温室、熱帯果樹温室等の熱源の確保が必要となっています。

このため、今後も水戸市の重要な観光資源として、また、人間と植物をつなぐ市民の憩いの空間として、多くの人に愛される施設へとリニューアルしていくための基本構想・基本計画を定めます。

2 リニューアルの基本的方向

(1) 目指す将来イメージと基本戦略

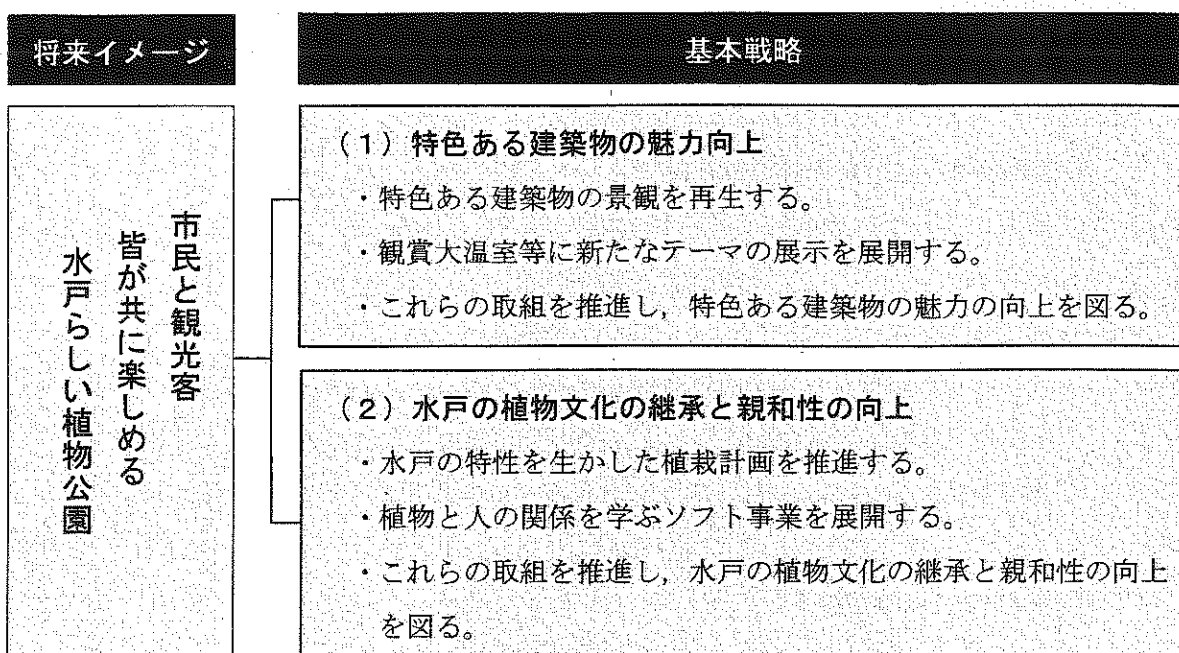
水戸市植物公園は、観賞大温室・熱帯果樹温室・植物館の建築物を備えています。

この重要な資源である建築物のポテンシャルと水戸の植物文化を十分に活用し、新たな魅力を持つものへとリニューアルさせ、水戸市民はもちろん、広く国内外からの観光客・来訪者にも水戸市植物公園を楽しんでもらえることを目指します。

水戸市には、水戸藩第 9 代藩主 徳川斉昭公により造られた「偕楽園」があります。この偕楽園の造園の思想の一つである「民とともに楽しむ」という考えを受け継ぎ、「皆が楽しめる植物公園」を目指すものです。

そのため、水戸市植物公園のリニューアルに当たっての将来イメージを「**市民と観光客 皆が共に楽しめる 水戸らしい植物公園**」とします。

あわせて、その将来イメージ達成に向け、次の基本戦略を定めます。



(2) 植栽計画

①観賞大温室

- ・熱帯や亜熱帯の美しい植物を観賞する建築空間を再現します。
- ・食虫植物・多肉植物等の特徴的で集客力のある植物の展示や体験コーナーを設け、分かりやすく楽しい学習の場としての活用を図ります。

②熱帯果樹温室

- ・植栽テーマを変更し、水戸 養命酒薬用ハーブ園と連続させて、薬草やハーブを植栽します。

③既存花壇の植栽

- ・水戸徳川家の蘭、水戸藩にまつわる薬草、サルビア属の植物等、水戸の植物文化、歴史を伝える植物の収集・展示を進めます。
- ・季節ごとにテーマを設定し、これまで培ってきた経験・知識を生かし、さらに魅力ある景観を演出します。

④特色ある植栽

- ・テラスガーデン、ウェルカムガーデンにおいて、四季折々の花いっぱい環境を作ります。
- ・農業技術センター場内にある約400本の梅林を生かし、水戸を代表する梅の更なる品種収集と保存に努めながら、展示に活用します。同じく場内にある椿は、「江戸椿」と呼ばれる名品であるため、品種保存に努めながら、展示に活用します。

(3) 新たな視点からの取組

①子どもたちの学習・体験の場づくり

子どもたちが植物を中心に、楽しみながら園内を探検して、環境を自分で学ぶ環境学習ソフトを作成する等、子どもを対象とした学習・体験の場としての整備をします。



凡 例

既存施設	新築施設	水質源	主要経路	広場・屋外ステージ	駐車場	清掃工場跡地利用後付区域	主要動線	既存道路(サブ動線)	米園・米車庫敷地	境界道路	リニューアルエリア
(Blue)	(Orange)	(Green)	(Red)	(Yellow)	(Purple)	(Light Blue)	(Thick White)	(Thin White)	(Dark Green)	(Dashed White)	(Yellow Outline)

水戸市植物公園
リニューアルプラン全体図

4 リニューアルスケジュール

2018(平成30)年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度以降
第 1 期			第 2 期	
【建築工事(熱源設置工事含む)】 観賞大温室・熱帯果樹温室 基本設計・実施設計	【建築工事(熱源設置工事含む)】 観賞大温室・熱帯果樹温室リニューアル工事 【主要園路工事】 主要園路・広場改修基本設計・実施設計, 工事 【植栽工事】 観賞大温室・熱帯果樹温室の植栽 【環境学習ソフトの開発】 環境学習ソフトの製作		2021年4月 リニューアルオープン	新入口・駐車場設置工事 園内景観の整備更新